

めざす子ども像

『自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども』

取組目標

～守ろう地域のたから 育てよう故郷を愛する子どもたち～

今年度の取組紹介

【史跡散策&清掃作業】

地域の特性を生かした『史跡散策&清掃作業』は今年で4年目となるメインの取組み。

第7回(6月3日): 六条山遺跡、大亀谷国有林を散策。

西の京高校と奈良森林管理事務所にも協力を得て実施。

中学生・高校生を含む108名が参加。

第8回(12月16日): 喜光寺、菅原天満宮、垂仁天皇陵を

散策。喜光寺で行基さんの話を聞き、菅原天満宮では
“学業成就と合格祈願“のご祈祷をしていただきました。

中学生を含む98名が参加。

【学校園の学習(授業)活動の支援】

学習(授業)活動のサポート(福祉体験授業・家庭科ボランティア・オープンスクールなど)や図書室の運営(図書ボランティア)、放課後学習など学校園が必要とする支援を行いました。

【広報紙「京チュン通信」の発行】

本協議会や各学校園の活動を多くのひとに知ってもらうために「京チュン通信」を年3回発行しました。

今年度は子どもたちから川柳を募集して子ども参画の紙面にして、すべての児童・生徒に配布するとともに、地域住民にも自治会の協力を得て 班(組)回覧や全戸配布を実施しました。



今年度のまとめ

- ・「史跡散策&清掃作業」は“地域を知ることができる”取組として好評で定着しつつあります。そして、中学生もクラブ活動の時間をさいて 毎回 参加してくれるようになってきました。
- ・小学校での活動がメインであった図書ボランティアの活動が中学校・幼稚園でも展開できるようになってきました。(六条小学校に派遣されている司書の効果が大きい。)
- ・いつも「京チュン通信」を読んでいる地域の方から心温まるお手紙をいただけるようになりました。

来年度に向けて

- ・来年度も地域・家庭・学校が連携・協働して子どもたちを育成する活動を推進します。
- ・『継続は力なり』と考えており、今年度の取組みをメインに内容をステップアップさせながら、「史跡散策」「学習支援」「京チュン通信の発行」などの活動を地道に取り組んでいきます。そして、ボランティアの輪を広げ、サポートが必要な場面で必要な支援ができる組織をめざします。

めざす子ども像

『自らのまちに誇りをもって、

自らのまちのことを語れる子ども』

取組目標

- ・心のこもった挨拶ができる子
- ・自ら学び考えようとする子
- ・自らの思いや考えを表現できる子
- ・相手を思いやり、コミュニケーションがとれる子

今年度の取組紹介

- ・昨年に引き続き、花いっぱい運動では、ヒマワリの苗を地域の学校や施設に配布をしました。活動が定着し、楽しみにしていただいています。
- ・学習支援活動では、福祉体験学習の補助や地域防災の講話なども地域の方が行っていただきました。
- ・第9回京中オープンスクールでは、～学ぼう地域の方々から・考えよう生き方～と題して、地域の方々が自分の職業やキャリアに即した授業を行っていただき、生徒たちは楽しく学習させていただきました。「芸術の秋！コンサート」では、これまた、地域の芸術家の皆さんが素晴らしい楽曲を奏でていただき、会場全員の合唱で体育館が厚くなりました。



- ・学校環境整備ボランティア事業では、校内外の施設整備や除草作業にご協力いただきました。

今年度のまとめ

地域の皆さんが温かく見守り、時には一緒に活動して下さることで、生徒の心の中に学校愛や地域愛が生まれつつあるように思えます。挨拶がしっかりできる生徒が多くなり、朝から元気な声が響いています。

来年度に向けて

運営委員会と校内の地域連携委員会を活性させ、生徒と地域のさらなる活動の深まりに向けてプロジェクトひまわりや京中オープンスクール等の取組みを進めていきたいです。

学習支援活動に参加いただける、ボランティアの増員を目指して、広報に力を入れます。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども

取組目標

「命こそ宝、宝は地域の中にいるあなた」を実感させる

今年度の取組紹介

- ・環境整備事業（みんなでペンキ塗り～！）

猛暑の真っ盛りで夏休みの初日、総勢100名にも上る地域の皆さんや児童、PTAの方々と一緒に「廊下の壁ペンキ塗り」作業を行いました。瀧のような汗をかき、ペンキにまみれながらも和気藹々と、普段ではあまりお話しする機会のない方とともに作業をすることで、各々の想いを語り合うきっかけとなりました。挨拶から始まり、「協同作業」の温もりとありがたみを実感できました。



- ・学習支援事業と図書ボランティア活動、そして『ありがとう集会』！

「この事を語らずに、六条小学校は語れない！」と胸を張れるほどのウチの誇りです。家庭科の実習（調理・裁縫ミシン）や生活科、社会科における校区内探検巡りの安全サポート、植物の植え込みサポート、校内の植物観察、昔遊びや昔のくらし（七輪）体験、そして図書ボランティア等々、子どもたちをそっと見守りながら支えてくださる姿勢が素晴らしすぎます。毎日の安全な登校～学校生活、下校～地域での暮らしまで、かわってくださる方々を学校にお招きし、全校でお礼を述べる『ありがとう集会』を、児童の計画運営で開催できた事が皆さんへの恩返しでした。12月19日の寒い朝でしたが、体育館が春を恐わせるようなホカホカした心地よい空気で、六条小学校区のステキさを、一体感を肌で感じられました！



今年度のまとめ

- ・夏の環境整備作業により、普段お会いしても会話のない方々と打ち解け合い、気持ちを語る場となりました。また校内の何気ないところに、学習カードが提示されたり、図書を展示されたりすることで、自然と学ぶ環境が整いました。それ以外にも、学習支援ボランティア事業のおかげで、家庭科実習や昔のくらし（七輪体験）などは、安心安全な授業を進められました。特に、火を扱う場面での大きな事故は、0であったことが最高の評価と言えます。

来年度に向けて

- ・「ありがとう集会」で、お世話になった地域の皆さんの高評価を受け、今後もお互いに負担にならない感謝の場を継続していかなければならないことを確信しました。
- ・学校ホームページや学校便りにとどまらず、大々的なポスターの製作、掲示が必要です。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども

取組目標

かしこく なかよく たくましく**伏見南で学んだことを誇れる子の育成 ～見つけよう 今の自分 未来の自分～**

今年度の取組紹介

伏見南で学んだことを誇れる子の育成のために、地域と関わることを通して地域のすばらしさを学習することが大切であると考えました。

そこで、今年度も地域の方をゲストティチャーとして招き、地域学習を行いました。低学年の「親子箏演奏体験」では、箏の演奏を聴くだけでなく、簡単な曲を演奏させてもらうことを通して和楽器の素晴らしさに触れることができました。また、土曜日活動（なかよし会）では、「しめ縄づくり」や「どんどの集い」を行い、地域の方から伝統的な行事を行う意味と伝えていくことの大切さを教えていただきました。

このように地域とともにキャリア教育を進めることにより、地域の中で育っていることを自覚し、生きる力を育むように取り組みました。

「豊かな心・人間関係力の育成」の取組として、特別支援学級では、「ひまわりレストラン」を開きました。確かな勤労観を身につけることを目標に責任をもって調理や接客を担当し、お客様のもてなし方を学習しました。地域の方からは、励ましの感想をいただきました。



親子で箏の演奏



しめ縄づくり

今年度のまとめ

『図書室でかしこく・地域連携学習事業』では、地域の方と共に図書室活用型学習を展開することができました。地域の方と共に『干し柿作り』・『さつまいも栽培』・『球技大会』など体験的な活動を通して、子ども達の道徳的実践力を養い、自己肯定感を高めることができました。「豊かな心・人間関係力の育成」を目指し、地域の方と共にキャリア教育の視点から様々な学習場面で体験的な活動を展開しました。児童健全育成推進協議会（愛称：なかよし会）やPTAOB会・万年青年クラブのみなさんの協力を得て、登下校の安全見守り活動を推進することができました。

来年度に向けて

中学校区で目指す子ども像『自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども』を実現するために、学習面では「学習習慣を身につけ、自ら学び考えようとする子」「自分の思いや考えを相手に分かりやすく表現できる子」、生活面では「心のこもった挨拶ができる子」「相手を思いやり、コミュニケーションがとれる子」を目指し、「豊かな心・人間関係力の育成」に取り組んでいきます。

また、来年度から発足する中学校区コミュニティースクールの取組に向けて、校区内の各組織との連携をさらに強め、地域連携型の行事をますます発展させていかなければならないと考えます。

めざす子ども像

『自らまちに誇りをもって、自らまちのことを語れる子ども』

取組目標

自ら考え、最後までやりぬく子ども

「面白そう・やってみよう・できる・できた喜び」

今年度の取組紹介

絵本好きにしたいね

今年度より六条小学校図書ボランティアと協働して、幼稚園の絵本の部屋を楽しい部屋にしようという活動が始まりました。絵本にカバーをしたり、折り紙で壁面を飾ったり、配置を換えたりしています。図書係の呼びかけでたくさんの保護者もこの活動に参加しています。子どもたちも絵本の部屋に行くのが楽しみになっています。絵本の部屋を開放し、親子で絵本を自由に選んだり、読み聞かせをしたり、親子での会話もはずんでいます。絵本を好きになることでイメージが広がり、遊びの中で創造力が豊かになって、自分で考えたことや知ってることを試したり、工夫したりする姿に繋がり、日々の生活が豊かになってきました。



今年度のまとめ

継続している菜の花プロジェクトでは、地域の方や保護者の方も一緒に活動しています。園評価として地域の方や保護者のアンケートにも「この地域でしか経験できない貴重な体験です」という意見も出ています。

また”絵本好きな子どもになってほしい”という思いから「絵本の読み聞かせ」として地域の方に毎月来てもらい、園だよりやクラスだよりなどで園児達の実態や教育目標を知らせていくことで園児の興味や季節に応じた絵本を読んでもらっています。今年度は保護者の活動としても絵本の部屋の環境を改善しています。

来年度に向けて

今後も菜の花プロジェクトや環境整備事業、広報活動、子育て支援、教育支援者と絵本の読み聞かせや運動遊びなど継続したいと思います。地域との活動の中身もホームページや園内掲示で伝えていたり、取り組みの中で園児がいきいきとしている様子や地域の方と関わり、幼稚園・地域が活性化している様子を広めたりしていきたいです。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、 自らのまちのことを誇れる子ども

取組目標

いろいろな人や身近なものとのかかわりを通して、心豊か
かでいきいきと活動する幼児を育てる。

今年度の取組紹介

園児や保護者、未就園児、地域の方々と共に、ふれあいを楽しみながら心弾ませながら、心豊かな体験ができるように計画し取り組んできました。

本園の取り組みの一つとして、『お話ひろば』を続けてきています。しかし、高齢化が進み、園に来ていただくことが難しくなっている事があります。地域コーディネーターの力をお借りして、地域の教育力を活かし新たな出会いができるように連携に取り組んできました。

その一つが、地域で決める学校予算事業の取り組みの一つである『お茶会』で来ていただいている方がされている「お話せんと会」の方に来ていただいたことです。大型絵本やパネルシアター、ペープサイトを見せていただきました。子ども達は「お茶の先生や。」「今日は絵本、読んでくれるの。」と、親しみをもって接している姿がありました。また、パネルシアターでの仕掛けに驚き「うわ〜、大きくなった。」「すごい。」と、心弾ませて視聴していました。

卒園児の保護者でもある地域コーディネーターの方にも『お話ひろば』にきていただくことで「あ、おばちゃん久しぶり。」と、子ども達が嬉しそうに声をかける姿がありました。様々な方に来ていただき、温かな雰囲気の中で物語を聞くことで心が豊かになることにつながると感じました。また、地域コーディネーターさんの協力により、園内の絵本にブッカーをかけていただき、子ども達の絵本がきれいになりました。



未就園児保育『すくすくクラブ』では、民生委員さんの協力のもと、3歳児の親子が園に来園し、在園児と一緒に遊ぶことで「幼稚園ってたのしいな。」と、感じるようになってきました。保護者の方からも「家ではなかなかできない遊びができてうれしいです。」「子どもがこんなことができるなんて思いませんでした。」など、幼稚園を知っていただく良い機会となりました。

今年度のまとめ

子ども達は、園を訪れる様々な人とのかかわりの中で、自分たちの住んでいる地域を知るきっかけとなりました。また、かかわってくださる方々に進んで挨拶をしたりふれあいを楽しんだりする姿が見られるようになりました。

来年度に向けて

地域を知り、地域の人とかかわりを広げていけるように、コーディネーターや様々な人と連携し、計画立案し、子ども達の育ちにつながるよう取り組んでいきたいと思ひます。